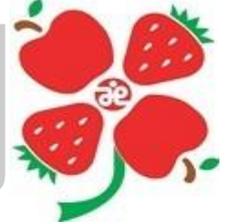




# 四つ葉のクローバー新聞



～心をひとつに～ 2015年8月号(第41号)

「四つ葉のクローバー新聞～心をひとつに!～」をお届けします。

この新聞では、山元町や地域包括支援センターをはじめ、山元町社会福祉協議会「やまもと復興応援センター」の復興応援活動、そのほか様々な情報をお伝えしています。

## 心をひとつに!『やまもと復興応援センター』

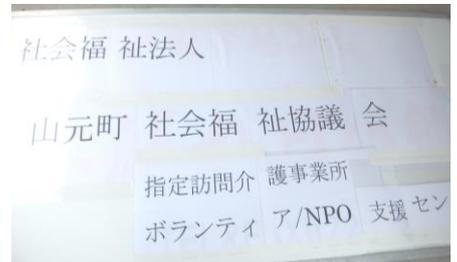
### 夕涼みサロン開催



7月4日(土)新坂元公営住宅で夕涼みサロンを開催しました! 区長さん、役員さん、住民の皆さん、応援センター職員が集まって計47名の参加となりました! 皆さん楽しんでいる様子で、お茶菓子を食べながら、和やかな雰囲気で行われました。

### 7月1日(水)合戦原に訪問 介護事業所オープン!!

事業所が独立したことで、より密に情報の交換が行われるようになります。この利点を活かしサービス向上に努めていきたいと思えます。



併設するボランティア支援センターとも協力し、地域に開かれた事業所となるように努めていきたいと考えております。スタッフ一同気持ちも新たに頑張りたいと思えます

訪問介護事業所 管理者 兼 サービス提供責任者 渡部律子

### ・・防災士ひとことコラム・・【受援力③～じゅえんりょく～】



前回は『受援力』の高め方についてお話しました。高めるためには日頃からの地とコミュニケーションをとっていることがポイントとなります。

今回はボランティアについてお話ししたいと思います。ボランティアさんというと皆さんはどんな印象をもたれますか? 「何でもできる人?」「ちょっと怪しい人?」

実はボランティアとは、「困っている人を手助けしたい」「人を支えたり人の役に立ちたい」と思っている人たちです。学生、若者、会社員、主婦、NPO関係者などなど。様々な方たちが参加し、自分の得意分野、できることを困っている方のために役立てようと活動しています。ボランティアは自己完結と言われています。なので、①活動後のお金の要求、②活動の往復に必要な交通費、食事宿泊先の要求、③お金の貸し借り、④作業に必要な資器材の要求や購入の強要などは一切求めることはありません。もし要求された場合には無理にボランティアを受け入れる必要はありません。理由を説明して断りましょう

# 浄化槽が詰まりました！

先月、中山熊野堂仮設住宅で浄化槽まで下水を送る中継ポンプが詰まりました。原因は、家庭から出る油が溜まったためです。このような事例が発生しないように下記のことにご注意ください。

浄化槽に異常があった場合、ランプが点灯しますが、浄化槽の中継ポンプに異常があった場合、ランプの点灯はせず、棟全体でトイレが詰まる等の症状が現れます。その際は、役場までご連絡ください。



1. 油を流さないようにしましょう。油分が固まると配管が詰まり、中継ポンプが作動しなくなります。
2. 野菜のくずなどを流さないようにしましょう。浄化槽の処理能力低下の原因になる可能性があります。
3. トイレには、トイレットペーパー以外流さないでください。特にタバコの吸い殻は浄化槽では、処理できません。



## 平成27年度 山元町健康相談会【8月】

中山熊野堂	8月 6日(木)	町民グラウンド	8月11日(火)
旧坂元中学校	8月28日(金)	浅生原東田(北)	9月 1日(火)

場所：各仮設住宅集会所

時間：10:00～12:00

お問い合わせ 地域包括支援センター Tel 37-3901

四つ葉のクローバー新聞 2015年8月号(通算第41号) 2015年8月1日発行  
発行:山元町 編集:やまもと復興応援センター

☆山元町被災者支援室 電話 0223-29-8003 <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/>

☆やまもと復興応援センター(山元町社会福祉協議会) 電話&FAX 0223-35-6223